



☐ いまい だより。

檀原市議会議員
今井 りか
Rika Imai

公式SNS

フォロー
いいね
お願い
します！



プロフィール

- ・1986年4月11日生まれ
- ・O型 / 158cm
- ・土橋町在住
- ・真菅北小学校 PTA会長 (現在)
- ・厚生常任委員会 委員長
- ・議会広報委員会 委員長
- ・奈良市立平城西小卒
- ・奈良市立登美ヶ丘中卒業
- ・一条高校外国語科卒業
- ・2021年2月 市議会議員選挙 初当選

ごあいさつ

長い夏が終わり、秋を感じる間もなく冬の気配がしてきている今日この頃です。あんなに暑かったのに、毎年ちゃんと寒くなるもんなぁと驚かされます。

さて、10月と11月はイベントが盛りだくさんの季節です。運動会に文化祭、マルシェなど、週末ごとにどこへ出かけようかと悩んでる方も多いのではないのでしょうか。私も、公私共にバタバタしている日々を過ごしていて、秋の活気を感じているところです。最近、特に嬉しかったことは、パリ2024オリンピック柔道女子70kg級に出場された檀原市出身の新添左季選手が地元の真菅北小学校を訪問されたことです。新添選手は個人戦では惜しくもメダルを逃しましたが、混合団体戦で銀メダルを獲得！訪問を受けて、子どもたちは大きな盛り上がりだったようです。地元で育ったアスリートが活躍している姿を見せてくれると、私たちも元気づけられますね^^



厚生・文教常任委員会連合審査会

4歳女兒に関する重大事件について

令和5年6月に発生した4歳女兒が死亡し、児童虐待と疑われる事件が発生しました。この事件を受け、檀原市議会として令和5年9月から連合審査会にて、この事案について審議してまいりました。また、県と市は共同で検証チームを設置し、調査及び検証を行いました。そして令和6年3月、当時の市の対応についての提言が17点挙げられました。その報告を受け、委員長として、今回挙げられた提言が改善されるまで審議を続ける旨をお伝えしました。そして、今年9月11日に審議会を開き、現在に至るまでのように取り組んできたのかの報告を受けました。

人員増加の課題は残しつつも、担当課で出来る最大限の取り組みはしっかり行ったものと判断し、委員長としてこの事案の審査を終了することを決めました。こどもが虐待を受けたという相談を受け、県内の児童相談所や市町村が対応した虐待件数が令和5年度は5000件余りにのぼり、前年度から21.6%増の過去最多であるという悲しい結果もありますが、引き続き、虐待防止のために何が出来るのか、研究しながら、ひとりでも多くの子どもたちが過ごせる環境の整備、居場所づくり、そして、保護者が孤立しない環境づくりについて、模索・提案してまいります。

真菅幼稚園の3歳児保育について

「檀原市保育所・幼稚園適正配置実施計画」では、「真菅北幼稚園が令和6年度末に閉園した場合は真菅幼稚園で3歳児保育を行う」と記載されており、**来年度から真菅幼稚園にて3歳児保育が実施されます。**定員は25名で、預かり保育時間は他の3歳児保育実施園と異なり**16時半まで**です。また、**駐車場は整備しない**のことで、通園手段は**徒歩か自転車のみ**となります。徒歩や自転車で通えるなら、園区外の方の通園も可能です。今後、ニーズがあれば駐車場整備や預かり時間の延長の検討を行うとしています。委員からは、計画が浸透していないことから、周知が不十分だという意見や、駐車場の

整備が必要ではないかという意見もありました。また、真菅北幼稚園が令和6年度末で閉園し、令和7年4月から耳成西幼稚園において、2年間の合同保育が実施されます。真菅北幼稚園の園児数が元々多いこと、耳成西幼稚園の駐車場が十分に確保されていないこと等、今後、合同保育を行うことで諸課題が出てくることなどが想定されます。さらに、令和9年4月には公私連携幼保連携認定こども園が開園予定となっており、私としても、地元の園から檀原市として初めての手法で行われる園運営について、子どもたちが安全に、安心して通えるのか、保護者はじめ地元の皆様に愛される園になるのかなど注視しています。

一般質問「こども・若者を取り巻く体験について」

今井：「体験格差」とは、経済的要因や地域差でプールやキャンプ、芸術鑑賞などの体験機会が制限されることで生じる格差を指します。各家庭の経済的な事情や保護者の時間的余裕により体験機会に差が出ている現状がある。体験格差の解消を社会全体で支えるべきだと考えるが市のお考えは。

市：遊びや体験活動は、こども・若者の健やかな成長の原点であることから市としても、施策を行っていく必要があると考える。

今井：榎原市は体験に関する調査を行ったことはあるか？

市：体験に特化した調査は行ってないが「榎原市こども計画」の策定に伴い、アンケート調査

を実施しており、経済的に厳しい家庭ほど子どもへの文化的な体験機会提供が難しいという傾向が確認されている。次期計画でも体験格差を把握するための内容を盛り込んだ調査を行いたい。

今井：普段公園で出来ない遊びをプレイパークの導入について市の考え方は。

市：香久山公園再整備計画の策定に伴い、民間事業者と連携し、プレイパークのような子どもが楽しめる新たな公園作りを検討する。

今井：水泳等の水に親しむ体験の格差は世帯年収による差が大きいが、貴重な水に触れる体験が出来る榎原総合プールの今後の対応は。

市：新しい水遊び場の整備を検討し、今年度中に案を示したい。総合プールは現在現在休園にしており、再開の見込みはない。今後の利活用について、市民の皆様にお示ししたい。

今井：プール存続の要望や体験格差解消に向けた市の対応は。

市長：財政状況や老朽化によりプール存続は難しいが、体験格差を解消するため、民間活力も導入し、子どもたちが等しく体験できる場の提供を検討する。



衆議院議員選挙

10月27日に第50回衆議院議員選挙の投開票が行われました。私が所属する立憲民主党は今回、榎原市を含む奈良3区において、川戸 康嗣(かわと やすし)さんを擁立し、「政権交代は最大の政治改革」を掲げ、12日間の選挙戦を戦いました。結果は及びませんでした。引き続き榎原市に第3区総支部長として共に活動して下さいます。

奈良県全体の結果は大きく変わりませんでした。全国に目を向けますと、大きな変化があったように感じています。翻って地方政治は各党が掲げている政策に則り活動するのではなく、市民の皆様の声聞きながら、共にまちづくりを行っていくべきだと再確認致しました。私は私らしく、引き続き皆様の為に精一杯活動していくと改めて決意を固めました。

議会広報委員会

私が委員長を務める議会広報委員会では、現在、「かしはら市議会のいま」という議会だよりの編集を担当しており、今回は、私が撮影した表紙が採用となりました！ご覧になって頂けましたか？次号の表紙も撮影を担当しましたので楽しみに^^



さて、2回目の編集となる次号は、来年10月の3～5日に奈良県で初めて開催されます「日本女性会議」の実行委員の方にインタビューしてまいりました。また、別のページでは、様々なハラスメントについて取り上げさせていただきました。知らないうちに自分が加害者に…なんてことがないようにしたいものです。詳細はぜひ議会だよりをご覧下さい。

その他の活動報告



毎週第2日曜日の朝に「未来図(ミライズ)」というボランティア団体で米川・寺川の河川敷の清掃を行っています！また、一緒に活動して下さい方を募集しています！私も予定がつく限り参加しています！皆さんも一度参加してみませんか？



ご縁があって子育て支援団体ほほえみさんが企画されたイベントのほほえみフェスタにスタッフとしてお手伝いに行きました。初めてイベントを運営する側にまわり「楽しい」を提供するのに、こんなにたくさんの方の協力、関わりがあって成り立っていることを学びました。貴重な経験をさせていただきました。

今井りか 後援会

今井りかの活動を支えてくださる方を募集しています。次のようなことを手伝って頂ける方、ぜひご連絡ください。

- ・「いまいだより」を配って頂ける方
- ・過去の「いまいだより」を読んでもみたい方
- ・宛名書き等のお手伝い など

Mail : rika.imai0411@gmail.com / TEL : 080-8305-4364